



第1回 神奈川県景況感調査 (観光DI調査)

—2023年7月 速報—

1. 調査目的・概要

調査目的・概要

1. 調査目的

- 県内各地域の事業者の景況感と課題・問題点を把握するため、インターネットを媒体としたアンケート調査を実施する。
- 県内各地域の事業者の景況感や課題などを把握することで、優先的な取組み課題をかながわDMOが把握し、同時に神奈川県に共有することで、県と一体での神奈川県内の観光振興の推進を目指す。

2. 調査概要

調査名 : 第1回 神奈川県 景況感アンケート
調査対象 : 神奈川県下の各観光協会に所属する事業者
調査内容 : 現在の景況感等に関するアンケート
回答方法 : インターネット上のアンケートフォームで回答
 : 無記名アンケート
回答期間 : 2023年6月23日（金）～7月6日（木）
配布件数 : 3,297件 ※内379件（11.5%）は郵送対応
回収率 : 10.1%
回答件数 : 333件

2. 回答者属性

回答者属性

図)所在地

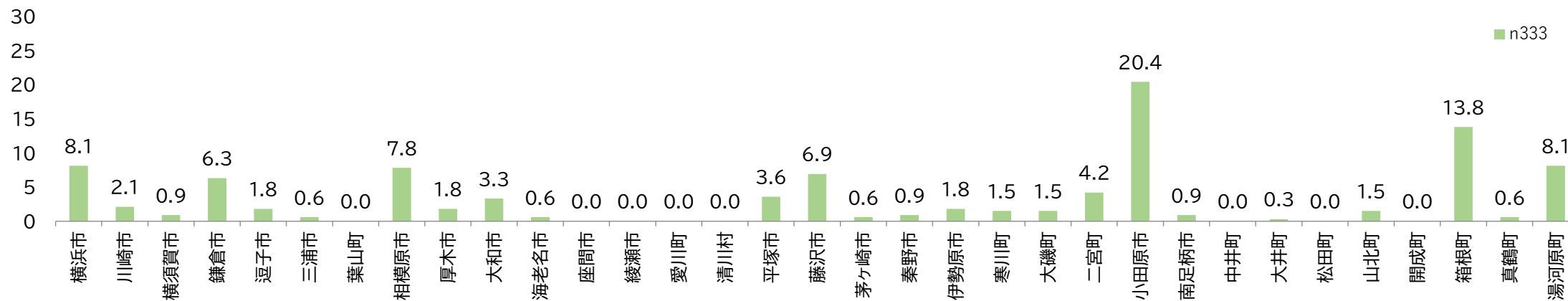
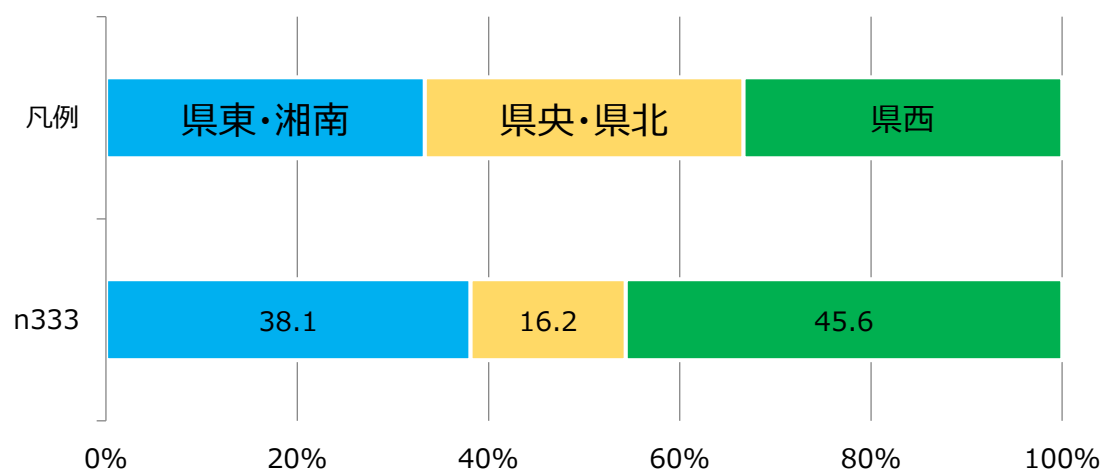


図)所在地 → エリア集約



【県東・湘南】

- 横浜市,川崎市,横須賀市,鎌倉市,逗子市,三浦市,葉山町,平塚市,藤沢市,茅ヶ崎市,寒川町,大磯町,二宮町

【県央・県北】

- 相模原市,厚木市,大和市,海老名市,座間市,綾瀬市,愛川町,清川村,秦野市,伊勢原市

【県西】

- 小田原市,南足柄市,中井町,大井町,松田町,山北町,開成町,箱根町,真鶴町,湯河原町

※一部では各地域を下記のエリアで集約して集計している。

回答者属性

図)業種

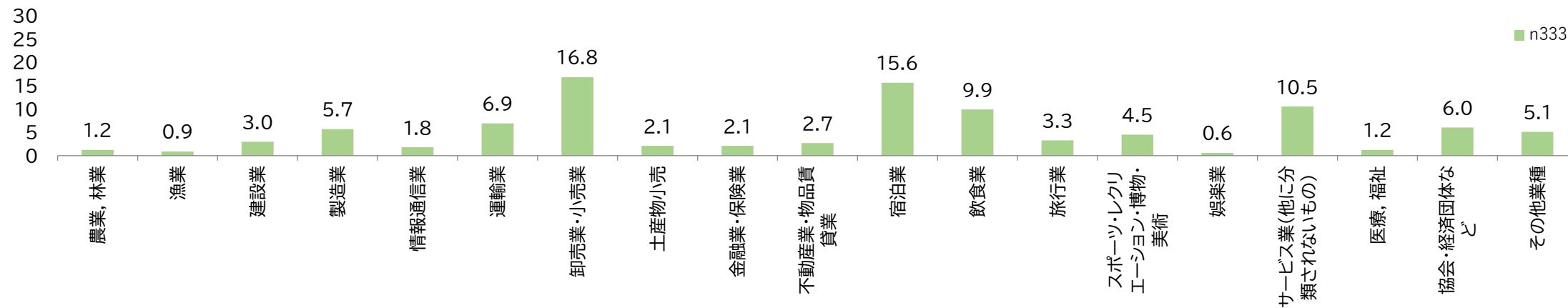
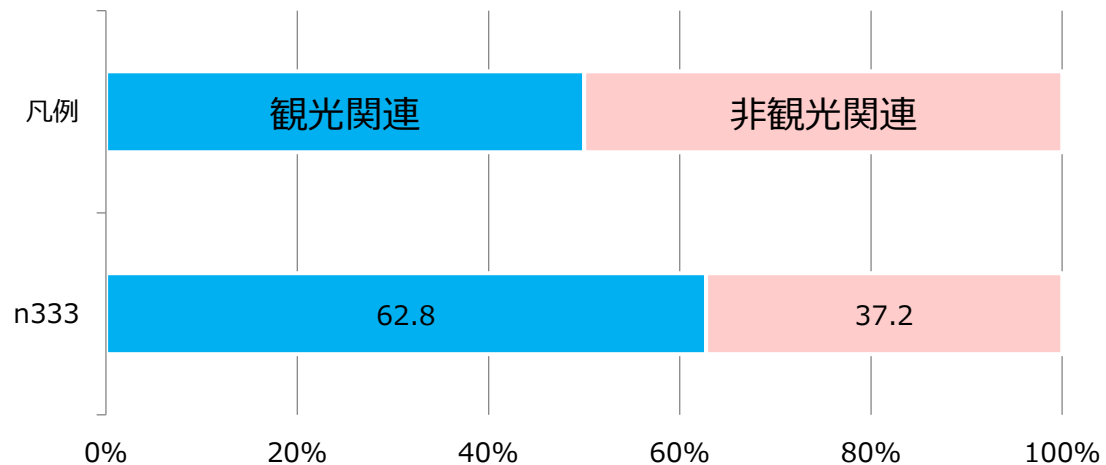


図)観光関連事業者



- 調査では、卸・小売り、宿泊、飲食サービスからの回答が多い結果であった。
- 各地域の観光協会の会員事業者を対象とした調査であり、全体の6割超を観光関連の事業者として集計している（収益の多くが観光客由来であるという自己判断による）。

回答者属性

図)従業員数 ※企業規模

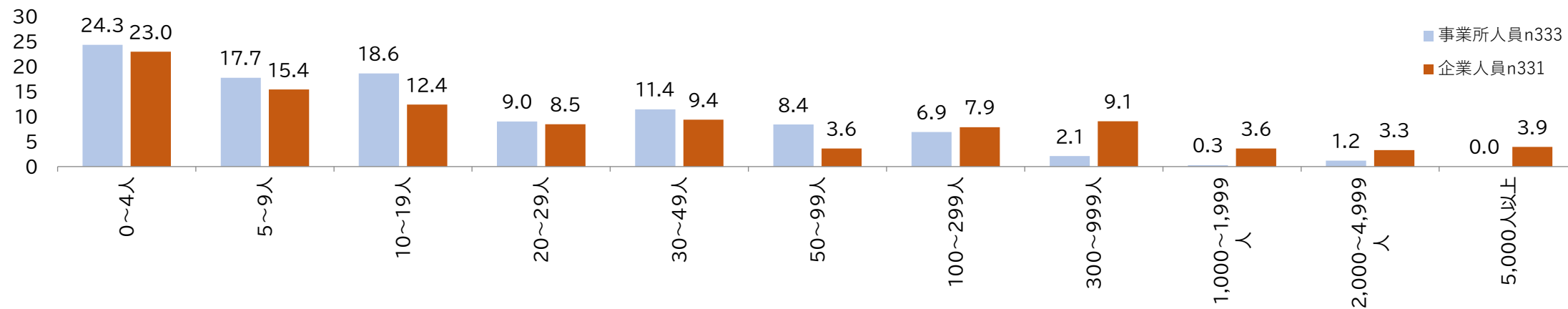
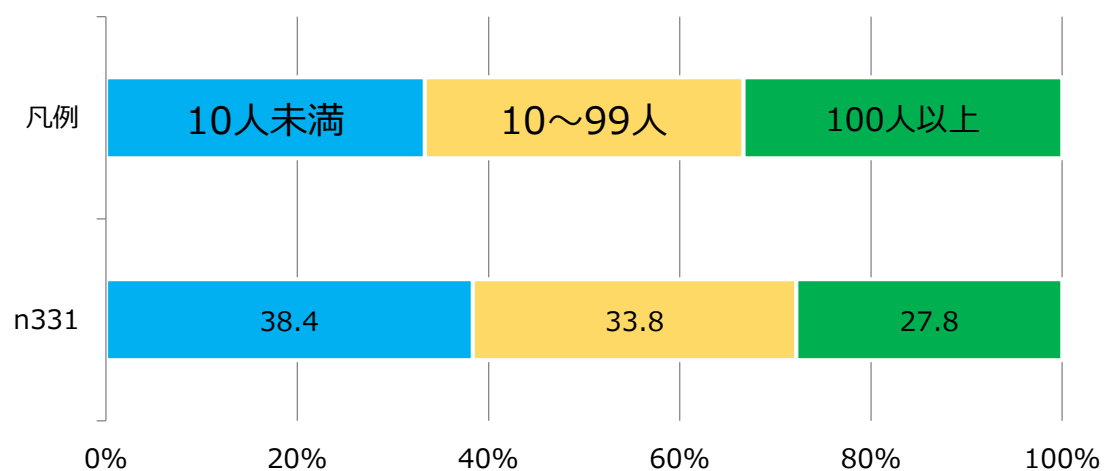


図)企業人員 → 集約



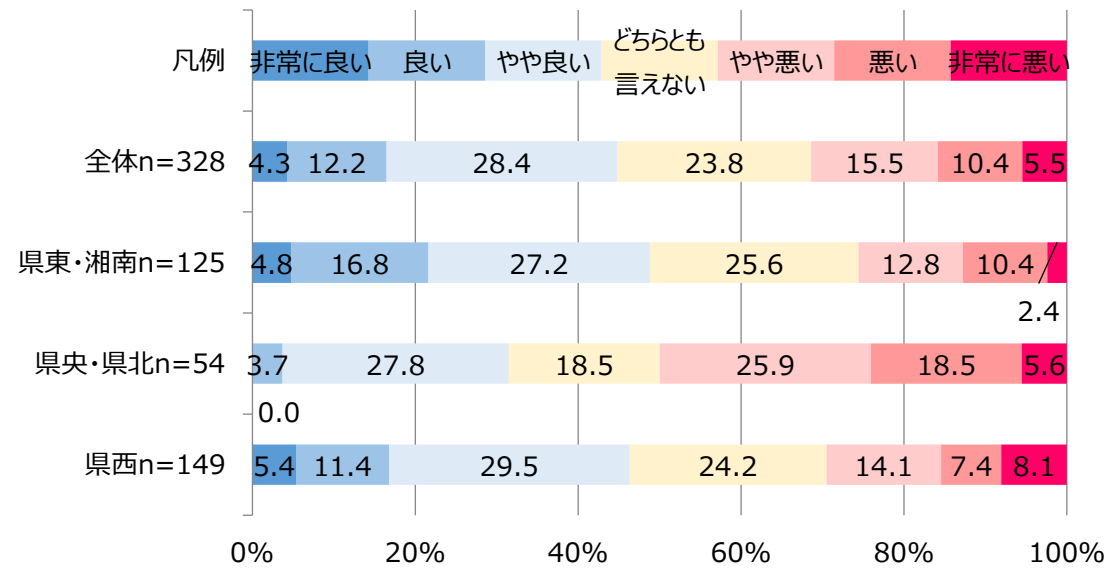
- 調査では、事業所ベースで従業員（アルバイト含む）30人未満が7割であり、100人を超える大規模事業所は1割超である。
- 企業ベースでは10人未満の企業が4割弱であり、一方で従業員300人を超える大企業も約2割の回答を得ている。

3. 調査結果(速報)

1. 2023年 第一四半期(4~6月)の景況感

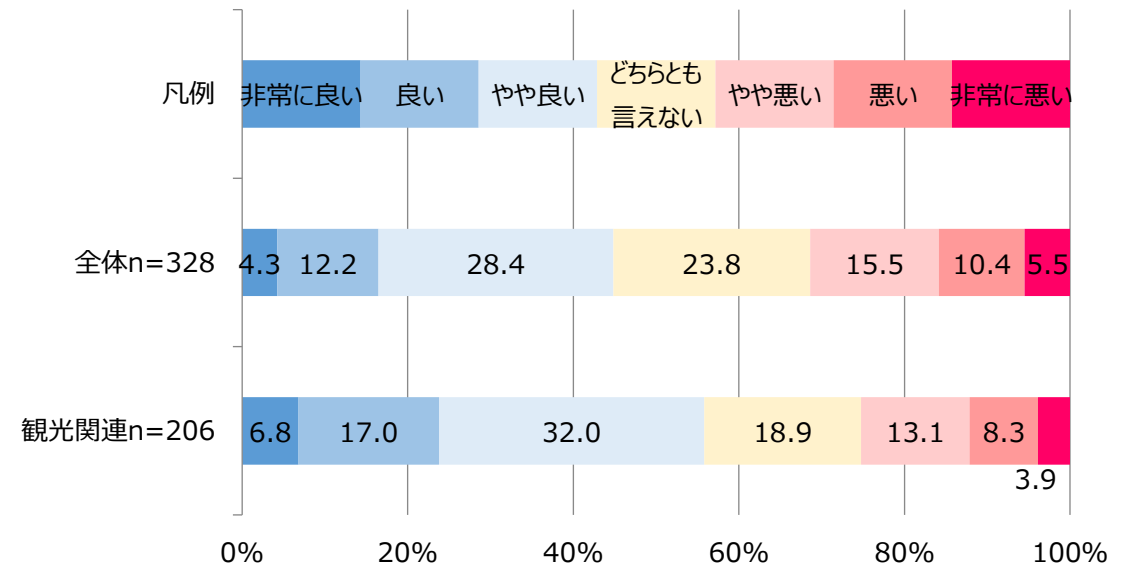
Q. 貴事業所が属する地域での「業界の現在の景気（概ね、2023年4月～6月について）」は、良いと思いますか、悪いと思いますか？

図)地域別の状況



- 全体の44.8%が現在の景気をポジティブに判断。ネガティブ計31.4%を上回るが、判断は割れる。
- 関東・湘南、関西に比べて、関東・東北の景況感が低調。

図)観光関連事業者の状況

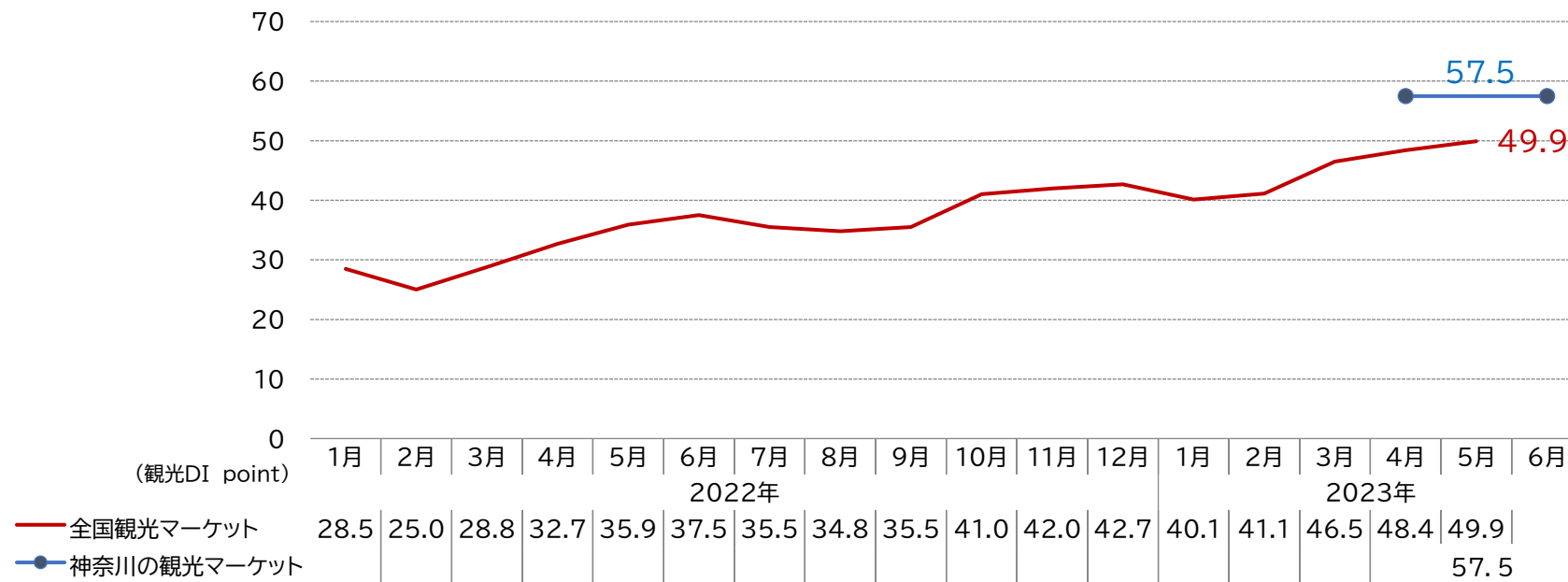


- 観光関連産業を含む全体と比較し、観光関連産業（観光客由来の収益比率が高い事業者）の景気判断がよりポジティブ。
- 第一四半期での観光マーケットの堅調さがうかがえる。

1. 2023年 第一四半期(4~6月)の景況感

観光DIによる全国マーケットとの比較

図)観光DIによる、全国の観光マーケットとの比較



※ 全国観光マーケットのDIは(株)帝国データバンク「観光DI調査」より引用 (<https://www.tdb.co.jp/report/watching/press/k230601.html>)

※ 観光DIの算出方法：

(景況感判断の「非常に良い」から「非常に悪い」までの回答数に6~0点をそれぞれ乗算した結果の総和) ÷ 有効回答数 × 1/6 × 100

※ 観光DIは50を境にそれより上であれば「良い」、下であれば「悪い」を意味し、50が判断の分かれ目となる

(帝国データバンク「DI算出方法より」)

- 今調査での4-6月の神奈川県観光関連事業者の景況感について、帝国データバンクによる全国の観光DIと併記して比較している。
- 全国の観光マーケットは2022年2月から中長期で回復が続き、景気判断が「良い」に転じる一歩手前まで改善している。
- 神奈川県の観光DIは四半期間隔であり、今回は4-6月の期間での景況感を確認している。
- 別調査である帝国データバンクの月次での全国結果と単純比較はできないが、4月、5月の両月ともに神奈川県での結果が上回っている。

1. 2023年 第一四半期(4~6月)の景況感

- ポジティブな景気判断では、コロナ禍からの回復と5類への移行、GW消費の復活、水際対策終了によるインバウンド需要の増加などが挙げられている。しかし、盤石な状況ではなく、依然として回復途上、先行きは不透明、戻り切れないと言った条件付きの見解も多い。
- ネガティブな景気判断では、材料費・光熱費・人件費の高騰、人手不足による需要の取りこぼしなどの経営課題、物価上昇による消費の冷え込み懸念などが挙げられ、景気は回復基調にあるものの各種費用の高騰が経営を圧迫して先行きの不安感を抱かせている。また、費用高騰を価格に転嫁しきれないジレンマも抱え、収益性の改善・向上が必要となっている。
- 観光関連事業者においては全国旅行支援の予算満了による需要後退を危惧する意見もあり、引き続き行政による支援策が求められている。しかしながら、行政支援による需要喚起策はあくまでも一時的な対策と言え、各地域の稼ぐ力を本質的に底上げする地道な取組みが必要であると考えられる。

自由回答抜粋) 現在の景気判断 ポジティブ

ID	現在の景気判断の要因・背景	景気判断	所在地	業種	規模
321	町全体が、個人で活動している方が多く、またそういう形態を受け入れてもらいやすいと思います。その結果、町への注目度が高く、二宮町に行ってみたい、や、行ってよかった、などの声を多く聞き、自然と人の流れが来ていると感じます。	非常に良い	二宮町	その他の業種	10人未満
52	コロナ禍での閉鎖的な状況から一変し、家族連れで外出する機会が増えていると感じており、コト消費への積極的な消費が活発化している。ゴールデンウィークは非常に多くの来店となり、活況であった為、1Qの景気は上向いていると感じる。	やや良い	相模原市	スポーツ・レクリ・博物美術	100人以上
238	アフターコロナで、世の中に人が出てくると予想したが、近場の観光地ではなく遠方の観光に足を運ばれる傾向があったのか、コロナ前と比較すると、4月から6月は概ね80%推移。昨年と対比しても、100%をやや超える程度。	やや良い	藤沢市	飲食業	100人以上
51	コロナでテレワークが推奨され盛んに行われたのと同時期に働き方に対する意識の変化に伴い湘南地区に人の流入が極端に増えたことが原因と考えられます	やや良い	藤沢市	不動産・物品賃貸	10人未満
296	昨年秋頃からコロナの規制が緩和されはじめ、5類へ移行される事が発表され、外出や遠出の移動をする人が増えた。観光バスや学生団体の旅行者が増えた	やや良い	横浜市	卸売業・小売業	10人未満
60	新型コロナウイルスの5類変更や全国旅行支援等の施策により、旅行需要が高まっている。また、円安の状況から海外観光客が戻ってきている。	やや良い	藤沢市	旅行業	100人以上
180	国内旅行者・インバウンド旅行者がいずれも回復基調にあるものの、新型コロナウイルス感染拡大前の水準までには戻り切れていない。	やや良い	箱根町	土産物小売業	100人以上
176	コロナ回復。報道などの影響により、仕入れ価格高騰による商品・サービスの値上げを容認してもらい空気感が広がっている。	やや良い	横浜市	他サービス業	10人未満
285	コロナ感染症5類への移行により、経済活動正常化に向けたマインド改善や観光客をはじめとした個人消費の持ち直し等	やや良い	小田原市	金融業・保険業	100人以上
230	コロナ感染症の為、外出を控えていた人たちが、5/8以降5類になったのを機会に外食するようになった為。	良い	横浜市	飲食業	10~99人
303	コロナ禍が明け、地元の利用もあり、観光客の利用も高くなったため。地元企業のご宴席はまだ弱い。	やや良い	大磯町	飲食業	100人以上
77	消費者のマインドがコロナ前の状況に戻りつつあるため、景況感は回復傾向にあると思います。	やや良い	箱根町	宿泊業	10~99人

1. 2023年 第一四半期(4~6月)の景況感

ID	現在の景気判断の要因・背景	景気判断	所在地	業種	規模
28	1. コロナの規制緩和 2. 1に関連し、外国人観光客の増加 3. マスメディアによる紹介	良い	藤沢市	飲食業	10人未満
228	新型コロナが5類に移行となり、みなとみらい、中華街等への観光客が回復傾向にあるため	良い	横浜市	運輸業	100人以上
74	コロナ5類になって法人宴会が回復してきたが、一方で人材確保に腐心する状況にある。	やや良い	横浜市	宿泊業	100人以上
106	新型コロナウイルスの影響の軽減に伴う人出の増加、インバウンド旅客の増加のため	やや良い	小田原市	運輸業	100人以上
308	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う行動制限の緩和、人気コンテンツとのコラボ	良い	横浜市	他サービス業	100人以上
86	インバウンドが増えてきていると共に、地域でのイベント等が復活し始めている。	やや良い	川崎市	協会・経済団体	10人未満
136	コロナの5類引き下げに伴い、地域の経済活動、市民活動が活発化してきたため	やや良い	小田原市	他サービス業	100人以上
144	新型コロナが落ち着いた事と5類に変更になり、国内外問わず観光客が増えた。	やや良い	鎌倉市	その他の業種	10~99人
242	新型コロナウイルスに伴う水際対策緩和及び5類引き下げによる旅行需要の回復	やや良い	箱根町	宿泊業	10人未満
291	インバウンド客の流入とコロナウィルスの5類移行により、旅行者が増えた為。	非常に良い	横浜市	宿泊業	100人以上
304	コロナウィルス感染症が2類から5類に移行した結果、人々の活動が活発に。	良い	鎌倉市	卸売業・小売業	10~99人
37	コロナウィルス感染症の懸念が低下したことで観光客・来訪者が増加している	やや良い	小田原市	他サービス業	10~99人
301	インバウンドの増加や旅行支援による観光の増加による経済の活性化	やや良い	小田原市	他サービス業	100人以上
17	宿泊客が戻ったが、7月はあまり予約が入っていないのが気になる	やや良い	藤沢市	宿泊業	100人以上
30	まだ不透明感があるが、消費志向上昇により業界動向も上昇期待。	やや良い	小田原市	医療・福祉	10~99人
44	前年度から好調だった業務を引き続き継続した形になっているため	やや良い	厚木市	農業、林業	10~99人
112	コロナ禍前の需要に戻っていない。また戻ることもないと思われる	やや良い	海老名市	運輸業	10~99人
137	コロナの5類変更に伴う規制の緩和によって景気が好転したと思う	良い	箱根町	スポーツ・レクリ・博物美術	100人以上
234	新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に回復しているため。	やや良い	横浜市	運輸業	100人以上
252	コロナウィルス感染も収束しつつあり景気は回復に向かっている	良い	鎌倉市	宿泊業	10~99人
46	コロナ明けで顧客が積極的に情報発信を始めようとしている。	やや良い	小田原市	情報通信業	10人未満
98	景気全般は、あまり良くない。コロナ禍を脱して、やや良い。	やや良い	小田原市	製造業	10人未満
302	コロナの制限が緩和されたことにより客足が回復傾向にある。	やや良い	大磯町	宿泊業	100人以上
66	コロナの5類に伴う規制緩和による、インバウンド等の回帰	やや良い	箱根町	スポーツ・レクリ・博物美術	100人以上
299	行政機関の受注案件および全国割などによる旅行需要が回復	良い	箱根町	旅行業	100人以上
157	コロナ前に至らず、80%位 高齢者の動きが戻らない。	やや良い	鎌倉市	飲食業	10~99人

1. 2023年 第一四半期(4~6月)の景況感

自由回答抜粋) 現在の景気判断 ネガティブ

ID	現在の景気判断の要因・背景	景気判断	所在地	業種	規模
151	鳥インフルエンザや円安、ウクライナなどのため品物が足りない。そのため品物が高い。ガソリン代電気代が重くのしかかってくる。働き手は足りない。そのため自分でみんなやらなければいけない。飼料が高く、例えば鳥インフルエンザを出した農家は、殺処分した鳥の保証はある程度あっても、その後鳥が育ってくる間の給料が払えない。従業員がやめる。財布の紐が堅い、ギフトが売れない。景気がよくなる要因がない。値上げした分売り上げはやや増加、だけど払わなければいけないものが大幅増加。こんなこと聞かなくてもわかりそうなものなのに、誠に残念だ。神奈川payが始まれば少しはよくなるか?でもすぐ終わりそうです。	悪い	南足柄市	卸売業・小売業	10人未満
315	製造及び卸部門における原料、運賃の高騰、人件費の追加。長年業務に精通していたベテラン社員の退社や社員の高齢化による仕事率の低下。ネットに関わる多機能業務が多岐にわたり、本来の営業活動が滞る。しかし、開発地元の素材を使った新商品を開発して、売上向上に向けて努力をしている。(※特定できる固有情報が含まれるため一部を意識しています)	やや悪い	逗子市	卸売業・小売業	10人未満
196	当所会員に向けての景況調査を定期的に行っているが、現在も各業界は厳しい状況が続いている。一方で、飲食・サービス業と小売・卸売業を中心に、業況の回復が進むが、各業種において、電気代を始めとしたコスト高と人手不足が懸念材料となっている。	悪い	相模原市	協会・経済団体	10~99人
309	コロナ禍より販促を行っているが、来客数が前年と同程度。来客数のポテンシャルが下がっていると考えている。地方の同業他社に聞くと、前年比150%↑で推移しているようなので、旅行で遠方に行ってしまうと思われる。	悪い	横浜市	スポーツ・レクリ・博物美術	10~99人
277	旅行支援がなくなりインバウンド需要も多くないエリアは集客に苦慮している。さらに人手不足も拍車をかけている。背景としてはコロナに加え電気やその他のコスト増が宿泊事業者、旅行者に重くのしかかっている。	悪い	山北町	宿泊業	10~99人
103	コロナになり、常連さんが減りました。毎日来ていたお客様が週3回になりお客様に聞いてみたら、コロナになり自宅での自粛に慣れてしまい、食べに行くより自宅の方が楽だと気づいたと言われました。	非常に悪い	相模原市	他サービス業	10人未満
57	原材料枯渇による全体的な値上げと物不足、コストに値上げにより消費低迷売り上げの低下。飲食店、含め全ての産業に影響およぼす10月からの電気代さらなる値上げに危機 トドメを受ける可能性	悪い	相模原市	飲食業	10人未満
24	あらゆるものが値上がりし、消費者の生活費以外に使えるお金が少なくなっていることが主な原因と考えますが、政府の旅行支援が終わってからの観光客数が伸び悩んでいるように感じます	やや悪い	湯河原町	卸売業・小売業	10人未満
227	コロナ対策で3月13日からマスクの着用が個人の判断が基本となり、5月8日から5類になったことなどにより利用者が戻りつつあり、回復の兆がみられ期待をします。	悪い	相模原市	他サービス業	10~99人
133	人件費の高騰・材料費の高騰で景気は上がらないと思います。会社としては営業をして別業者への提案をして売り上げを確保する状態。商売が難しくなっている昨今です。	やや悪い	横浜市	製造業	10~99人
294	ようやく街に人が戻りつつあるとは思いますが、物価が上昇し、通販買い物で自由に選び購入できる時代でもあり、便利な反面、店頭販売が難しい所です。	やや悪い	小田原市	その他の業種	10~99人

1. 2023年 第一四半期(4~6月)の景況感

ID	現在の景気判断の要因・背景	景気判断	所在地	業種	規模
294	ようやく街に人が戻りつつあるとは思いますが、物価が上昇し、通販買い物で自由に選び購入できる時代でもあり、便利な反面、店頭販売が難しい所です。	やや悪い	小田原市	その他の業種	10~99人
148	全国旅行支援が4月早々に予算が無くなりお客様の動きに陰りが出ている。また原材料高、エネルギー高によりコストが増えた分を価格に転嫁できていない	やや悪い	湯河原町	宿泊業	10~99人
12	一般家庭は物価高に伴いレジャー支出を抑制し、関東近郊の富裕層は海外旅行を含む遠距離旅行やラグジュアリー宿泊施設を選択していると思われる	やや悪い	箱根町	宿泊業	10~99人
316	コロナ禍を機に、人の流れやレジャー費のベクトルが変化しているように感じています。それが全てとは思いませんが、大きな要因だと感じます。	悪い	二宮町	土産物小売業	10人未満
94	エリアごとによって差が出ている。東京は逆にインバウンドバブルのように景気が良いが藤沢に関してはそこまで来ていないため動きが弱い	やや悪い	藤沢市	宿泊業	100人以上
48	物価上昇・家計圧迫により購買意欲が下がっているように感じます。またアフターコロナで旅行などに行ってる面もありそうです。	やや悪い	二宮町	卸売業・小売業	10人未満
213	物価の高騰が相次ぎ、販売価格を上げざるおえず、値上げしたことによって、お客様から高くなったとの判断で売れ上げが激減	非常に悪い	小田原市	飲食業	10人未満
318	作業収入は昨年度に比べると増収しているが、光熱費および材料費の高騰により、全体の収支としては減収している。	やや悪い	平塚市	医療・福祉	100人以上
178	人手不足のため新たな仕事の受注も難しく、材料・燃料の高騰、輸送費の高騰等粗利率が減少し経営圧迫状態です。	悪い	寒川町	建設業	10~99人
276	原材料や光熱費の高騰等がマイナスになり、中々設備投資までいかない、従業員の確保も難しい状態です。	やや悪い	小田原市	不動産・物品賃貸	10人未満
222	内外の諸条件による、原価・運送費・副資材・光熱費等の上昇が、商品価格に完全に転嫁されていない。	やや悪い	川崎市	卸売業・小売業	10~99人
259	コロナ過による3年間の売り上げ減少が大きいので、少し景気が上向いたくらいでは解消されない。	非常に悪い	小田原市	他サービス業	10~99人
286	コロナ感染終息にちかずにいるとはいえ、団体のお客様メインの当社の需要低迷が続く	悪い	横浜市	飲食業	10人未満
2	コロナ禍の影響からの回復傾向が見られるもののまだまだ回復とまでは言えない。	やや悪い	秦野市	他サービス業	10~99人
85	コロナ時の影響がまだ残っているため、受注が少なく、材料等は高騰しているため	やや悪い	鎌倉市	建設業	10人未満
13	物価上昇により、旅行などの娯楽にお金をたくさん使える人が減っている。	やや悪い	箱根町	不動産・物品賃貸	10~99人
41	観光客は増加傾向にあるがマリンスポーツはもう一つ盛り上がりがない	やや悪い	藤沢市	スポーツ・レクリ・博物美術	10人未満
246	コロナがきっかけで世の中動きが変わりWEB広告に切り替わり始めた	非常に悪い	厚木市	その他の業種	10~99人
19	コロナ5類移行後も生活行動変容等の影響で今一つ伸び悩んでいる状況	悪い	鎌倉市	運輸業	100人以上
161	コロナ前と比較して、予約受注の進捗に鈍化傾向がまだ残っている。	やや悪い	箱根町	宿泊業	100人以上
184	現在もコロナの影響を受け、イベントの減少で収入減となっている。	非常に悪い	平塚市	情報通信業	10人未満
182	原材料の高騰、電気代の高騰、最低時給が上がっている、人材不足	非常に悪い	平塚市	製造業	100人以上
267	業種によっては回復していると思いますが、弊社は非常に悪い。	悪い	大井町	卸売業・小売業	10人未満
79	長引いたコロナ禍から観光業はじめ利用者が戻りきっていない。	やや悪い	湯河原町	協会・経済団体	10人未満
235	コロナ禍になっても、予約者やお客様が戻らないし、増えない。	やや悪い	大和市	スポーツ・レクリ・博物美術	10人未満
244	物価高、燃料・原料の価格高騰にもかかわらず価格競争の社会	悪い	小田原市	その他の業種	10人未満

1. 2023年 第一四半期(4~6月)の景況感

自由回答抜粋) 現在の景気判断 どちらとも言えない

ID	現在の景気判断の要因・背景	景気判断	所在地	業種	規模
204	業界としても様々あるためどちらとも言えないと判断。我々の属する製造業も部品調達が少しずつ戻ってきてはいるものの、原材料費が高騰していることもあり生産性が若干落ちてきていると感じる。飲食業に関してもコロナが5類に移行されたことにより徐々に回復しているとは言え、コロナ前には及ばず未だ感染に警戒している住民は多数いると思う。	どちらとも	寒川町	製造業	100人以上
195	コロナ中に釣りやゴルフは感染リスクの少ないレジャーと位置付けられて、他のアクティビティに参加する人が少ない中、40~50%ほど多客だったが、コロナ終息とともに他のアクティビティに客が流れ、ほぼコロナ前の水準に戻ったこと。	どちらとも	箱根町	漁業	10人未満
42	柑橘類を個人販売していますが、送料、段ボール代、ガソリン等経費の高騰分を価格に上乗せできないでいる。また、法人への納品では、インボイスが始まると、適格領収書を出せない分、値引き要請等を心配しています。	どちらとも	湯河原町	農業、林業	10人未満
217	同規模同業種の取引先であっても業況の良し悪しがあるため。ただし、業況がいい先は何等かの新たな試みや他社に秀でた部分があり、今まで通りの営業を継続している先は売上が逡減していることが多い。	どちらとも	相模原市	金融業・保険業	100人以上
70	コロナ禍の消費・生活スタイルに慣れてしまったのか、ご葬儀需要は少し戻ってきたもののそれ以外の需要(一般およびギフト)は思ったよりも回復せず、そのため売上げが回復しない状況が続いている。	どちらとも	逗子市	卸売業・小売業	10人未満
143	旅行支援の影響で景気は回復されたように思われるが、支援が終わってしまうと利用客が減少した。コロナや戦争の情勢での物価の高騰により、宿泊利用を躊躇されているお客様がいると見受けられる。	どちらとも	箱根町	宿泊業	100人以上
206	現状では前年度対比で横這い。今後はコロナ過での借入れ返済や最賃、年金、保健、税金、仕入れなどの上昇、等々の問題を抱え、民間企業の動向が非常に危惧される中、先行きの不安を感じます。	どちらとも	小田原市	他サービス業	10~99人
5	仕事は戻りつつですが、夜の営業をしている所が早く閉まってしまう。よって夜の営業活動が少なくなっている。また、われわれの運輸業界は労働者が集まらない。	どちらとも	湯河原町	運輸業	10~99人
256	観光に対する恩恵が終了したことにより観光地での消費の低迷が見え隠れしていると思われます。	どちらとも	小田原市	卸売業・小売業	10~99人
164	GWは久しぶりの海外旅行解禁ということもあり、遠方に行ってしまった方が多く首都圏のお客様を主なターゲットとしている弊社は苦戦した。	どちらとも	川崎市	娯楽業	100人以上
109	町全体の各企業(商業施設・宿泊施設等)の協力体制が未熟であり、来町者に対するおもてなしの姿勢に統一性が無い。	どちらとも	湯河原町	他サービス業	10~99人
183	消費者の所得があまり変わらない中で、原料や物流費高騰による値上げに伴う消費者の買い控えを懸念しています。	どちらとも	川崎市	卸売業・小売業	10~99人
257	政府によるコロナ対策の緩和により一時的に外食産業への消費が増えたものの、まだ景気安定はしていない。	どちらとも	小田原市	飲食業	10人未満
26	予算の関係上、コロナからの回復傾向にはあるが、システム開発の保留、延期などがまだまだある。	どちらとも	小田原市	情報通信業	10~99人
22	全国旅行支援の予算が終了し、旅行や出張の予算がシビアになっていると考えております。	どちらとも	藤沢市	宿泊業	10~99人
159	4月からGWまでは入込が良かったが、それ以降、先行受注の力強さに若干の陰りを感じる	どちらとも	箱根町	宿泊業	100人以上

2. 今後1年間の景気見通し(～2024年6月まで)

Q. 貴事業所が属する地域での、3か月後・6か月後・1年後の景気は良いと思いますか、悪いと思いますか？

図) 今後の景気の見通し(全業種)

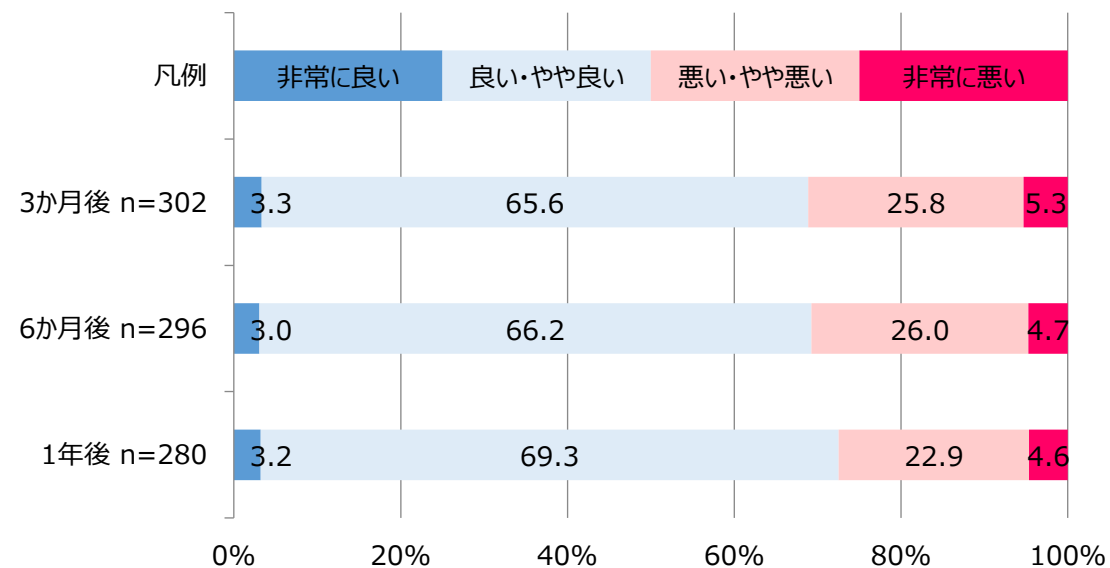
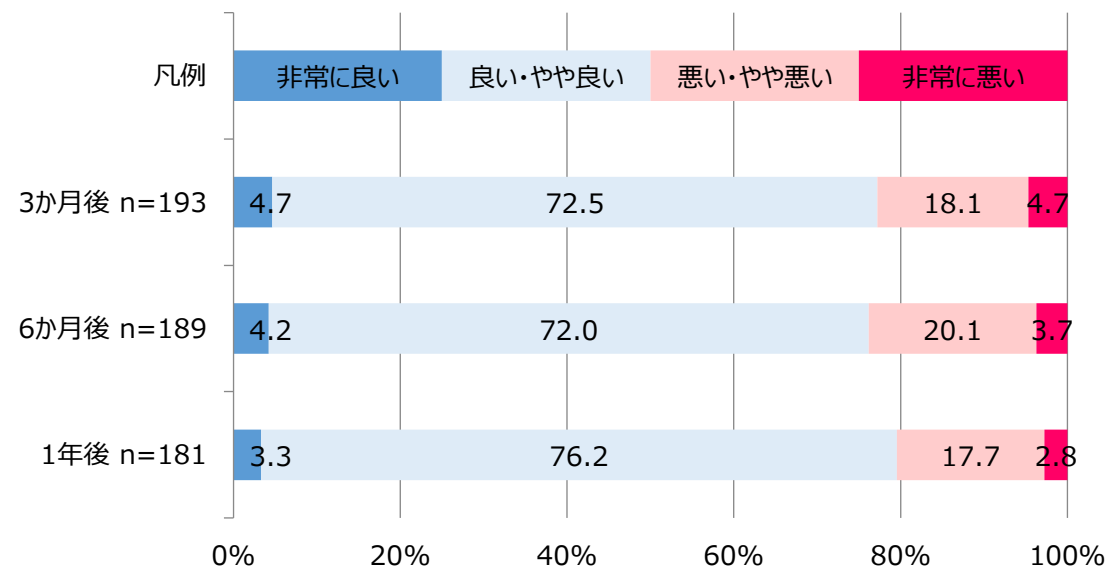


図) 観光関連事業者での見通し



- 3ヶ月後から1年後にかけて、いずれも7割前後が景気をポジティブに見通している。
- 時点間での傾向に有意な差異は確認できず、この先も比較的良好な市況が続くと見込んでいることが分かる。

- 同様の内容を観光関連事業者のみで確認すると、左記の全体結果よりもやや状況は好転し、8割弱が今後1年に渡ってポジティブな見通しを持っていることが分かる。
- なお、同様に時点間での傾向差は見られない。

3. 各種の経営指標の評価

Q. 次の各内容についての、貴事業所の現在の状況をお聞かせください。

図)売上高

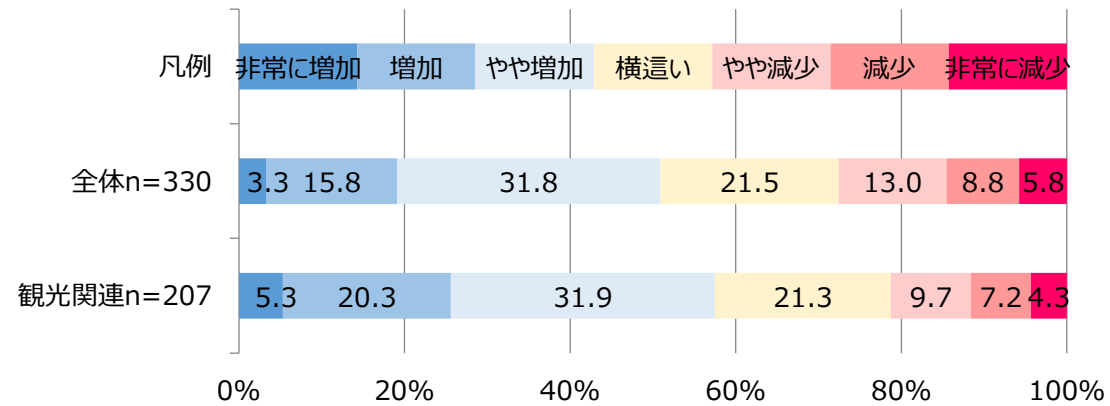


図)売上単価

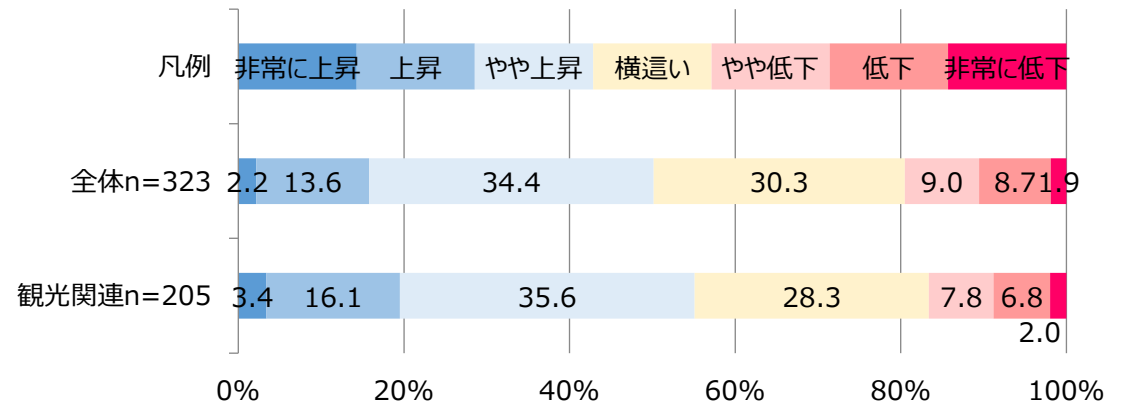


図)仕入れ単価・材料費

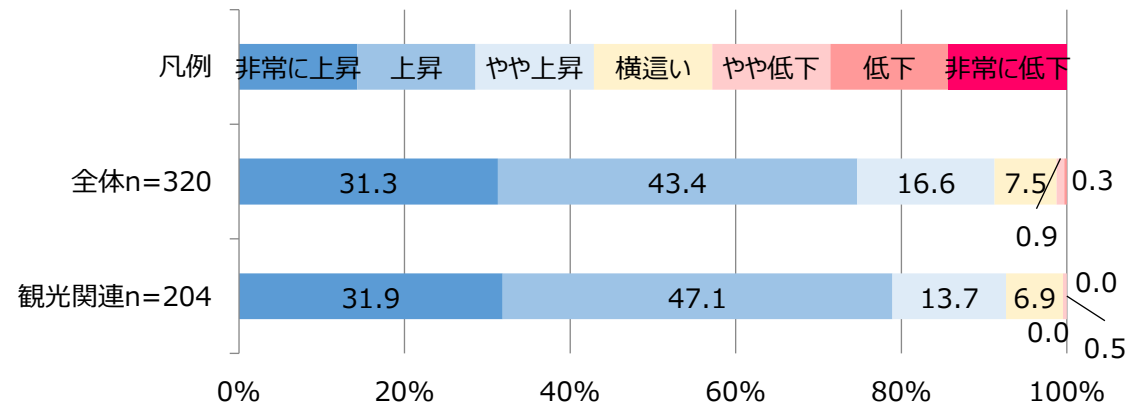
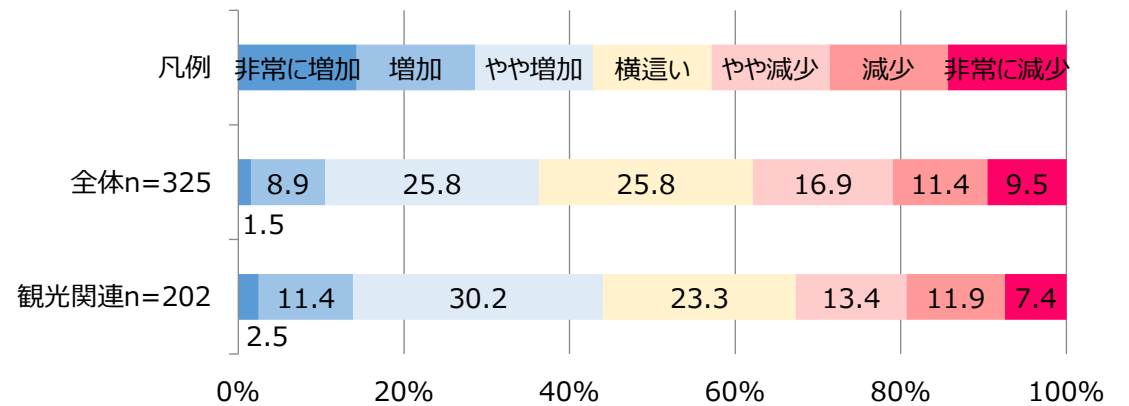


図)経常利益



3. 各種の経営指標の評価

Q. 次の各内容についての、貴事業所の状況をお聞かせください。

図)資金繰り

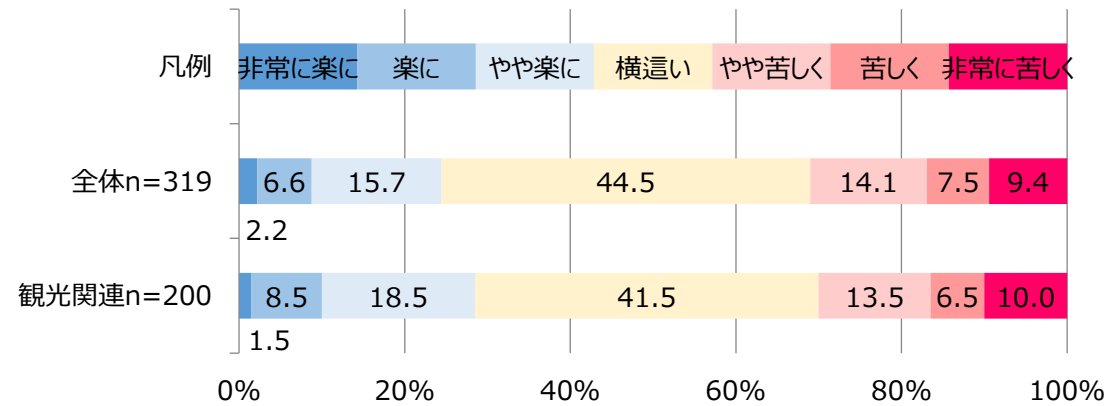


図)雇用人数

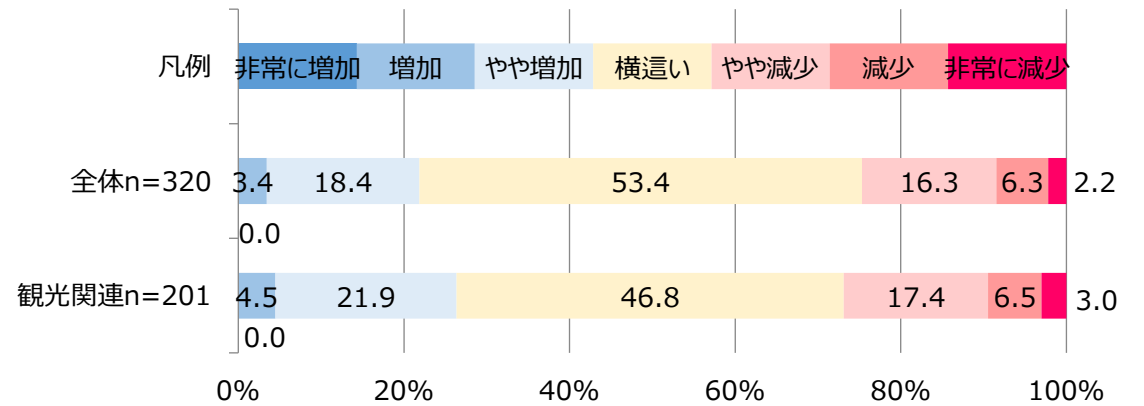
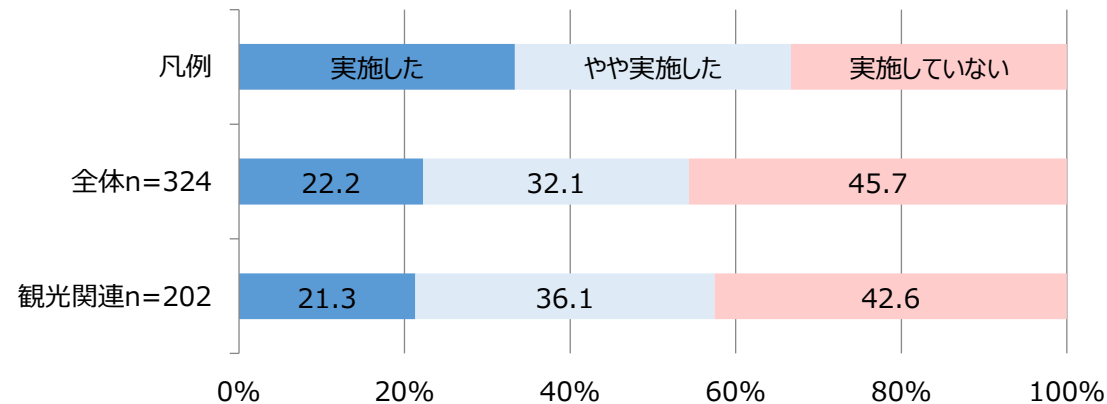


図)設備投資(2022年~2023年6月)



- 売上高、売上単価が向上したが、仕入れ費用が高騰したことで、経常利益の現状評価は判断が分かれている。
- 仕入れ費用は全体の約9割が上昇したと判断。材料費等の高騰が如何に事業に影響を及ぼしているかが垣間見られる。
- なお、売上高、経常利益は観光関連事業者での評価がより良好であり、他業種に比べてコロナ禍からの反動が顕著であったと推測する。
- 資金繰り、雇用人数、設備投資には全体と観光関連事業者での傾向差は見られないが、判断は割れる結果であった。

3. 各種の経営指標の評価

図)売上高 (従業員規模別)

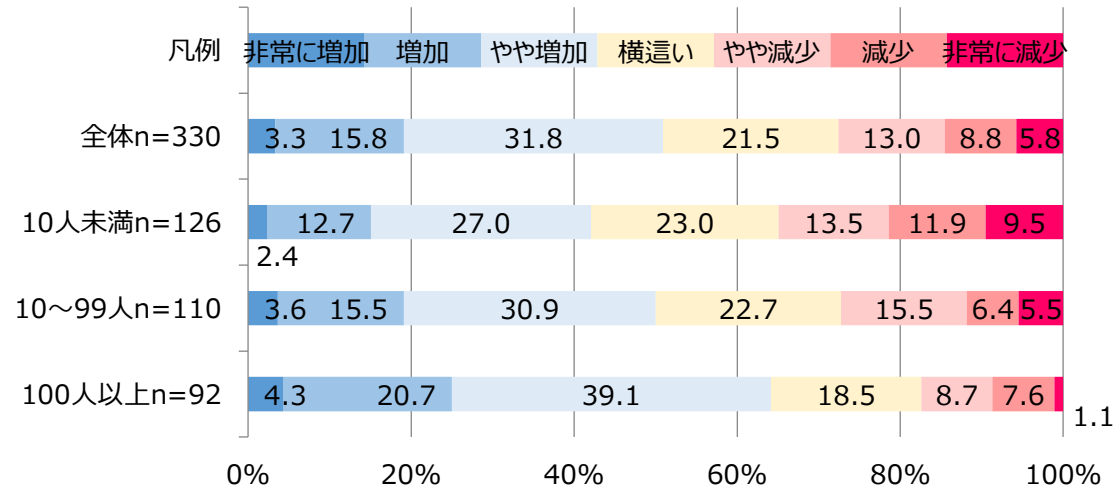


図)経常利益 (従業員規模別)

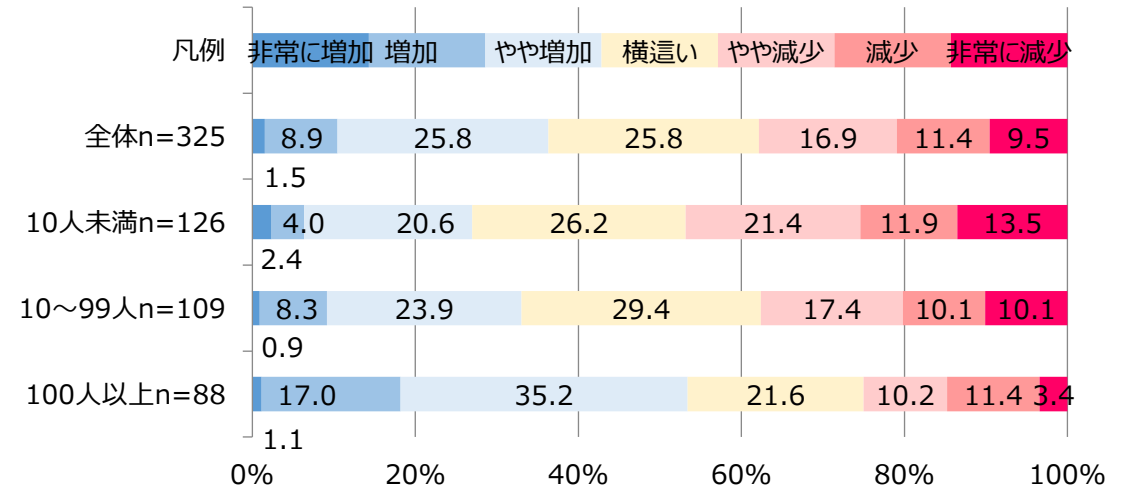
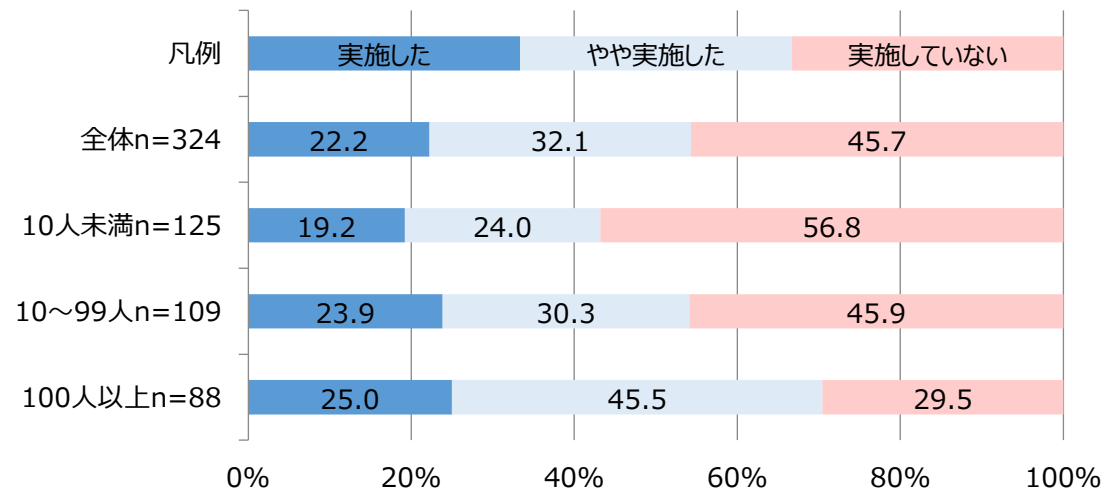


図)設備投資(2022年~2023年6月) (従業員規模別)

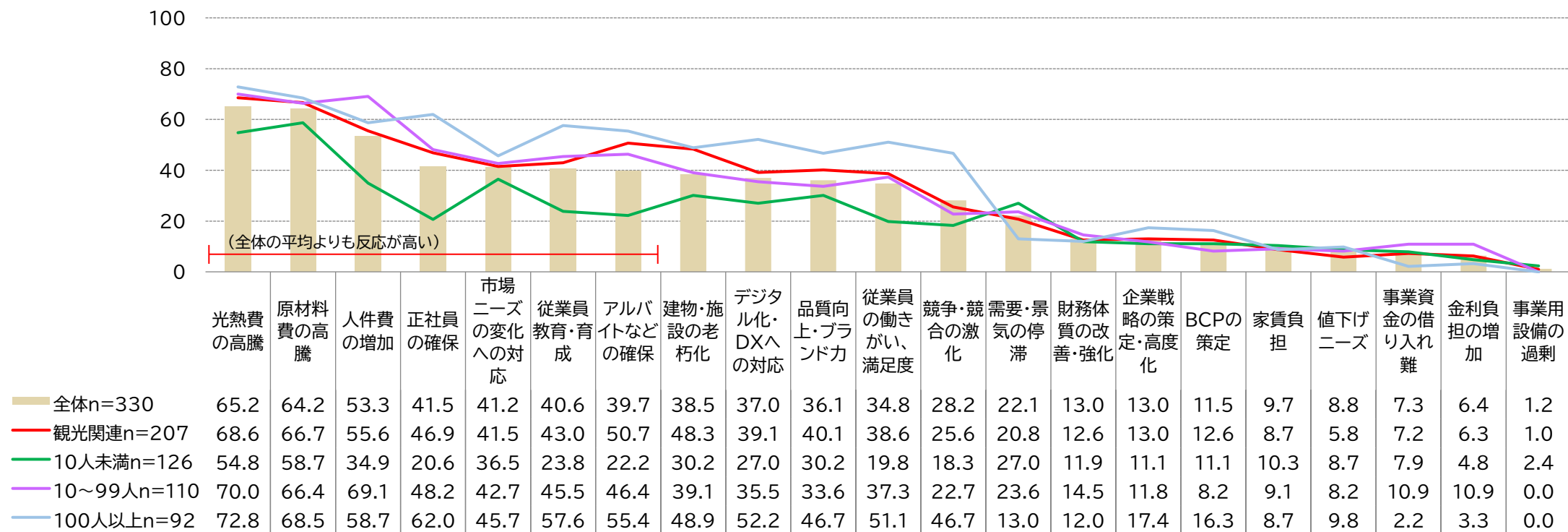


- 規模に比例して売上高が増加している傾向が強まり、100人以上の企業では6割以上で業績が改善していることが分かる。同じく、経常利益も規模に比例して好転する。
- これらから、10人未満の企業での業況は必ずしも良好とは言えず、比較的規模の大きい企業を中心に、コロナ禍の終焉、ともなう経済活動再開の恩恵を受けられているものと推測できる。
- 中小零細が多い観光関連産業においては、現在の観光景気の回復を裾野まで行き渡らせることが課題と言える。

4. 事業推進上の課題

Q. 貴事業所での事業推進上の課題について、当てはまるものをお選びください。

図)事業推進上の課題（観光関連事業者／従業員規模別）



- 光熱費、原材料、人件費の高騰が大きな課題であり、従業員（正社員・アルバイト）に関する要素も事業推進上の課題となっている。
- 観光関連事業者ではアルバイトの確保、建物・施設の老朽化を課題とする傾向が全体よりも高い。
- 100人以上の企業では従業員の確保、教育・育成、働きがい・満足度を課題する傾向が他規模よりも強く、また、デジタル化・DX化への課題も抱えている。なお、同じく100人以上の企業ではブランド力や競合の激化に反応する傾向もより強い。

5. 旅行者の増減

Q. 昨年の同時期（4月～6月）と比較して、国内・訪日の旅行者の増減のご所感をお聞かせください。

図)国内旅行者の増減

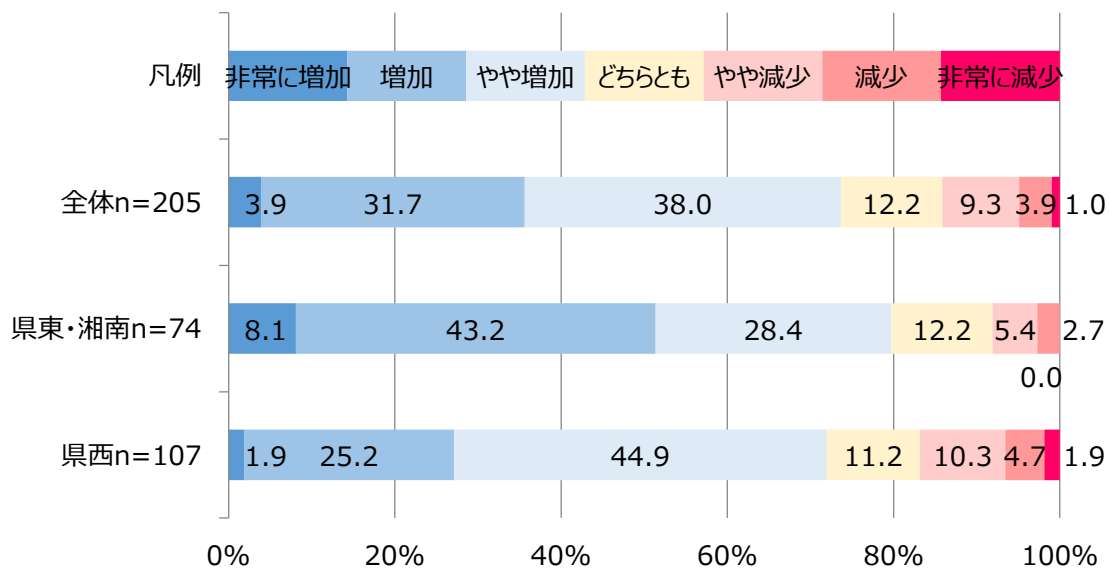
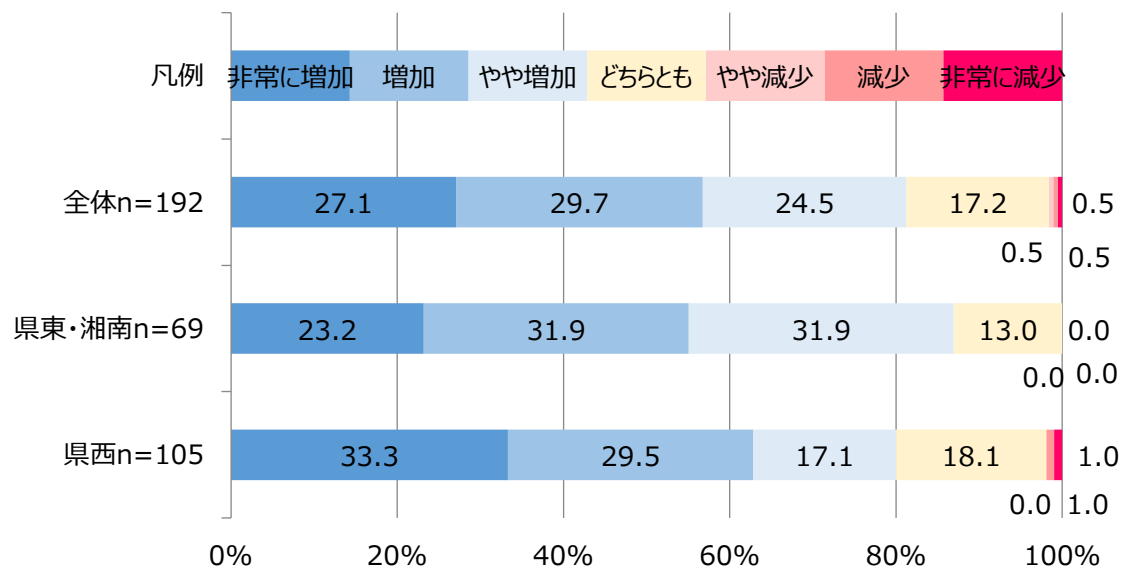


図)訪日旅行者の増減



- 全体の7割強で国内旅行者の増加に反応が見られる。
- エリア別での傾向差は明確ではないが、関東・湘南エリアでの状況がより良好な可能性がある。

- 全体の8割強で増加に反応が見られ、国内旅行者に比べて、2023年での訪日旅行者の増加が顕著であったと考えられる。
- 関東・湘南エリアは関西に比べて反応がより高く、前者では9割弱が訪日旅行者の増加を体験している。

※ 関東・東北エリアはサンプル数が不足しているため個別の集計は非掲載

6. 国内・訪日旅行者の動向

- 国内旅行者では、全国旅行支援によって消費が増大し、また、コロナ禍からのマイクロツーリズムと言った近圏消費の取り込みによっても需要は安定している。
- その一方で行動制限解除による消費の県外流出、コロナ禍でのマインド変化（最低限の消費）、物価高騰による消費引き締めなどによって、人流が戻っても消費が戻り切らないと言った見方もある。また、団体客の回復は途上であり、FITが主流化するマーケットトレンドへのビジネスの様態変化を模索する必要がある。
- 訪日旅行者では、一大顧客であった中国からの来訪は戻り切らないが欧米からの需要が高まるなど、偏重することなく多国籍の需要を獲得し始めている。コロナ禍当時からすれば当然収益は改善しているが、まだコロナ禍以前の状況には戻りきってはいない。
- 円安での外需取込みの恩恵もありインバウンド需要は確実に増加しているものの有力観光地に偏重している状況もあり、地域差が大きいものと考えられる。主要観光地から周辺地域へ来訪者を如何に誘導・分散させるかが課題となる。

自由回答抜粋) 国内旅行者の動向

回答ID	国内旅行者の変化・現在の動向	所在地	業種	規模
12	コロナ禍前に比べてグループ団体の予約が回復していない。全国旅行支援開始後に宿泊客数は回復したが、終了後に急激に減速したことから、旅行需要を先取りしただけだったのではないかと推察される。	箱根町	宿泊業	10~99人
296	コロナが5類に移行した事もあり、国内の旅行者は増え始めている。ただ、コロナ前の様にお土産的な物を色々を買ったりはしていない感じ。本当に必要な分だけ、余分を買う感じでは無い。	横浜市	卸売業・小売業	10人未満
242	土曜日、祝日については昨年より増加しているが、平日は昨年ほどの伸びを感じない。恐らく旅行支援の予算上限を迎えたことに伴う、旅行支援停止が関わっていると感じる。	箱根町	宿泊業	10人未満
60	全国旅行支援の影響で旅行需要が非常に高まった。特に週末や連休時の観光名所への来訪人数は昨年より増加している印象で、それに伴い宿泊需要が非常に高まっている。	藤沢市	旅行業	100人以上
238	比較対象がないので実際に多いか少ないかは不明ですが、店舗的には多いと感じています。1月1日から本日までの旅行支援クーポン利用割合が0.8%程度。	藤沢市	飲食業	100人以上
163	コロナ後、首都圏からの長距離圏の移動・需要の増加が増えたと感じる。そのため、中距離圏においての需要が一時的に、下がっていると感じる。	海老名市	スポーツ・レクリ・博物美術	100人以上
142	2022年度上半期は県民割や全国旅行支援で国内旅行者が顕著に増えた。下半期から現在にかけても失速せず、コロナ禍前の水準に回復した。	箱根町	スポーツ・レクリ・博物美術	10~99人
161	これまで以上にリードタイムが直近傾向にあり、先の見通しが立ちづらい。物価高騰も起因しているのか全体的に利用単価が低下傾向にある。	箱根町	宿泊業	100人以上
299	管轄の箱根は、インバウンド重要取組エリアですので非常に好調であるが反面、その影響によるオーバーツーリズムで国内マーケットが低迷	箱根町	旅行業	100人以上
82	コロナ禍で旅行を控えていた方が、外出しははじめていることもあるが、今年は、久しぶりに海外旅行が行き先となっているように感じる。	箱根町	宿泊業	100人以上
304	国内旅行者は近隣から来られている方が多いと思われる。人にあげるより自分や家族向けの土産品の売れ行きが良い様な傾向が見られる。	鎌倉市	卸売業・小売業	10~99人
309	遠方に行き、近場をめぐる流れになつてるように感じる。また、同業者の中でも伸びるところ・縮むところの二極化が進んでいる。	横浜市	スポーツ・レクリ・博物美術	10~99人
28	コロナ対策が緩和されたことにより、増加傾向である。今年に入り、国内では若い世代の来客が多くなったような感じを受ける。	藤沢市	飲食業	10人未満
230	団体客の割合がまだコロナ前の水準には戻ってはいない。個人客の割合がコロナ前に比べて1,5倍くらい増加している。	横浜市	飲食業	10~99人
84	昨年は話題性があり地域に訪れた方が多かったため、昨年よりは減少しているが、以前と比べると大きな変化はない。	寒川町	協会・経済団体	10人未満
291	2018年並みに海外のお客は戻ってきておりますが、依然当ホテルでは国内のお客が9割を占めております。	横浜市	宿泊業	100人以上

6. 国内・訪日旅行者の動向

回答ID	国内旅行者の変化・現在の動向	所在地	業種	規模
303	バス旅行の団体は減っているが、個人旅行が増えているので横ばい状態。訪日旅行者が大磯は著しく低いと感じる。	大磯町	飲食業	100人以上
213	行動制限解除により近場で遊ぶ方が激減、また、遠方から来るなら別の場所を選ぶので、遠方からも激減している	小田原市	飲食業	10人未満
99	全国割による効果に加え、団体客が増加傾向にある。しかしながら、5月中旬以降の新規受注が鈍化している。	箱根町	宿泊業	100人以上
4	地域によったものかも知れないが、隣の箱根町は客は増えているが、当町は目に見えて減少していると思う。	湯河原町	他サービス業	10人未満
226	コロナ禍において県内で検討していた旅行が県外にシフトしていき横這いからやや下の人流である。	山北町	協会・経済団体	10人未満
90	コロナ5類移行に伴い、高齢者の数が増えてきている。若者より購買力があるので、今後も期待したい。	鎌倉市	卸売業・小売業	10~99人
83	全国旅行支援の期待から早くからの予約が多く入っていたが、ここに来てキャンセルも出始めている。	箱根町	旅行業	10人未満
5	今までとの違いは、レンタカーで活動する人達が多くなった。又、キャッシュレスが多くなった。	湯河原町	運輸業	10~99人
52	県外ナンバーも見受けられ、旅行過程で来店していることも見受けられ増加していると感じられる。	相模原市	スポーツ・レクリ・博物美術	100人以上
109	滞在時間や滞在日数が徐々に増えてきてはいますが、大幅な売り上げ増までの変化は見られない。	湯河原町	他サービス業	10~99人
138	今までは関東近郊の近場からが多かったが、最近は関西、九州からのお客様がちらほら増えてきた	湯河原町	宿泊業	不明
234	コロナ禍から回復してきているもののコロナ前の2018年度に比べると戻り切っていない。	横浜市	運輸業	100人以上
34	コロナ収束による観光機運の高まりを感じる。旅行支援も効果的。もっと続けて欲しい。	藤沢市	卸売業・小売業	100人以上
19	土日の天気の良いはコロナ前の利用者を超える日もあるが、横這いの状態が続いている	鎌倉市	運輸業	100人以上
121	コロナ禍前の動きに戻りつつあるが、まだコロナの状況を引きづっている感がある。	箱根町	宿泊業	100人以上
74	全国旅行支援により増加したが、全国旅行支援が終了し、現状はやや停滞している。	横浜市	宿泊業	100人以上
106	新型コロナウイルス5類緩和の影響もあり、コロナ禍以前60%程度回復している。	小田原市	運輸業	100人以上
259	コロナ禍の3年間に及ぶ行動制限が緩和したので、旅行などを計画するひとが増えた	小田原市	他サービス業	10~99人
308	新型コロナウイルス感染防止に伴う行動制限がなくなり、人流が回復し増加している	横浜市	他サービス業	100人以上
202	全国旅行支援事業もほぼ終了し、旅行先での出費を抑える傾向にあるように思う	伊勢原市	卸売業・小売業	10人未満
219	通常の生活様式に戻りつつある。コロナ禍で疲弊した企業が盛り返しつつある。	大和市	宿泊業	10~99人
227	ほとんど国内旅行者で傾向に変化はない。団体利用が徐々に戻ってきている。	相模原市	他サービス業	10~99人
105	急速に回復したインバウンドの為、国内旅行者が予約しにくくなっています。	箱根町	宿泊業	10人未満
112	学生団体旅行が活発に動いているが、それ以外はコロナ過前よりかなりの減少	海老名市	運輸業	10~99人
214	首都圏からは昨年比やや減少または横ばい、地方からは増加、学校関連は増加	鎌倉市	その他の業種	10~99人
13	旅行者自体は増加しているが、価格を下げたときに予約が入ることが多い。	箱根町	不動産・物品賃貸	10~99人
277	4月以降は今まで人気だったキャンプ場も含めて大きく減少が続いている。	山北町	宿泊業	10~99人

6. 国内・訪日旅行者の動向

自由回答抜粋) 訪日旅行者の動向

回答ID	訪日旅行者の変化・現在の動向	所在地	業種	規模
12	2018年度に比較して、中国本土からの訪日客は回復していない一方、韓国からは増加した また、募集型のツアーも回復していないが、当方の人手不足等により受け入れられない事情もある	箱根町	宿泊業	10~99人
34	多様な国から来るようになった。特に欧米が顕著に増えている。以前のような中国人の爆買いのようなものは無いが、日本文化を楽しんでいるのが伝わる。	藤沢市	卸売業・小売業	100人以上
44	直接当店にいらっしゃるお客様は今まであまりおらず、それは今期も変化はないが、問い合わせの電話が増えました。(外国語の対応は可能か等)	厚木市	農業、林業	10~99人
148	元々当地域では訪日旅行者割合が近隣地域に比べて低いですが相変わらず低い状態が続いている。ただし自施設では訪日旅行団体は増えている	湯河原町	宿泊業	10~99人
19	中国政府による日本への団体旅行の解禁がどの程度影響するかが不透明で現在はコロナ前に及ばない厳しい状況が続いている	鎌倉市	運輸業	100人以上
161	月ごとの変動はあるが、それでも毎月過去の利用者数を上回っている。中国が動いていない状況下で国籍が多様化している。	箱根町	宿泊業	100人以上
291	個人型の旅行社が増えており、団体旅行については減少傾向です。というより団体だと単価が合わなくなってきております。	横浜市	宿泊業	100人以上
277	松田町や開成町までは外国人旅行者も多く来ているが山北町は行政も含めた情報発信が少ないため、殆どきていない。	山北町	宿泊業	10~99人
238	比較対象がないので実際に多いか少ないかは不明ですが、店舗的には非常に多いと感じています。	藤沢市	飲食業	100人以上
5	以前と同じようにあまり変化がない。これは、地元の観光業者あまり積極的でないからです。	湯河原町	運輸業	10~99人
95	中国や韓国からの旅行者に加えて欧州からの旅行者が目立って増加しているように思います。	鎌倉市	その他の業種	10人未満
230	コロナ前、インバウンドの割合が全体売上げの3%に比べ現在は15%位になっている。	横浜市	飲食業	10~99人
296	訪日旅行者は若干増え始めているが、メディアで報じられている様な増加は余り感じない。	横浜市	卸売業・小売業	10人未満
6	小田原は箱根へのアクセスもいいので、外国人旅行者がたくさん来ているのを見ている	小田原市	卸売業・小売業	10人未満
106	2022年10月の受け入れ緩和の影響で、コロナ禍以前比80%程度回復している。	小田原市	運輸業	100人以上
195	観光で訪れる訪日客は増加模様だが、内水面漁業には現在ほとんど縁がない状態である	箱根町	漁業	10人未満
180	増加しているものの新型コロナウイルス感染拡大前の水準からは未だ回復途上にある	箱根町	土産物小売業	100人以上
308	新型コロナウイルス感染防止に伴う行動制限がなくなり、人流が回復し増加している	横浜市	他サービス業	100人以上
1	インバウンドがかなり目立って増えている。今後はさらに増える傾向が見られる。	横浜市	協会・経済団体	10~99人
176	日本在住の外国人に利用してもらえる機会が増えた。MICE等の相談も増加。	横浜市	他サービス業	10人未満
24	コロナ禍になって減少した旅行者の数があまり回復していないように感じます	湯河原町	卸売業・小売業	10人未満
309	多少増えた気もするが、あまり実感としてはないので、変化などは感じない。	横浜市	スポーツ・レクリ・博物美術	10~99人
99	昨年とは比較にならず。コロナ以前よりも枠を広げての受注を進めている。	箱根町	宿泊業	100人以上
199	来日の規制が緩和され、欧米系と中国を除くアジア系の観光客が急増した。	箱根町	飲食業	10~99人

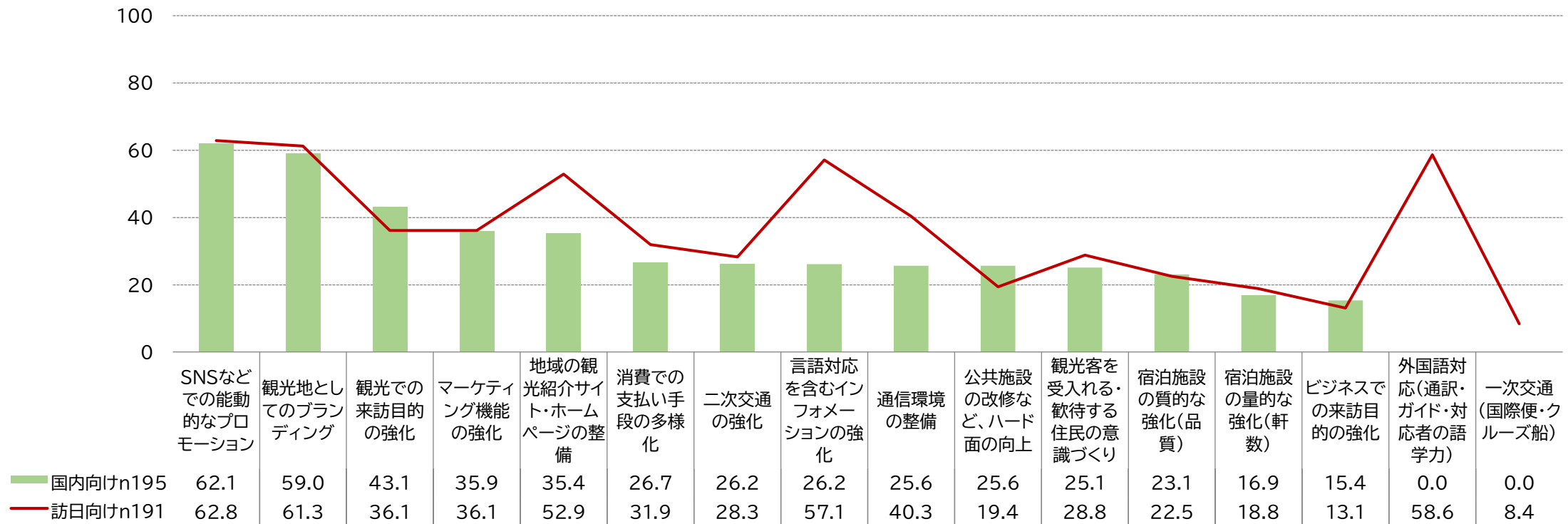
6. 国内・訪日旅行者の動向

回答ID	訪日旅行者の変化・現在の動向	所在地	業種	規模
302	個人の利用者が中心に少しずつではあるが回復してきているように感じる。	大磯町	宿泊業	100人以上
79	周辺の観光地に比べインバウンド比率は低く、来訪者は目立っていない。	湯河原町	協会・経済団体	10人未満
66	欧米系の旅行者のニーズが、日本文化等の体験型を求めてきている。	箱根町	スポーツ・レクリ・博物美術	100人以上
142	2022年10月以降、水際対策緩和で訪日外国人観光客が戻った。	箱根町	スポーツ・レクリ・博物美術	10~99人
242	昨年実績は0件であったが、週1~3件ほどはインバウンドのお客様	箱根町	宿泊業	10人未満
37	これまでに来訪が少なかった東南アジア圏の旅行者が来訪している	小田原市	他サービス業	10~99人
60	円安に伴い、アジア圏を主とした外国人観光客の増加が見られる。	藤沢市	旅行業	100人以上
90	非常に増えてきている。今後もこの流れは変わらないと思われる。	鎌倉市	卸売業・小売業	10~99人
109	徐々に増えては来ていますが、コロナ過前までには至っていない。	湯河原町	他サービス業	10~99人
118	コロナ前に戻りました。後は中国本土からのお客様を待っています。	箱根町	卸売業・小売業	10人未満
251	コロナ禍に開業したため比較が出来ないが昨年度よりは増えている	小田原市	飲食業	10人未満
28	前回答同様、増加傾向である。特に欧米人の増加が顕著である。	藤沢市	飲食業	10人未満
42	当地は、依然として少なく、外国人従業員の数の方が多いです。	湯河原町	農業、林業	10人未満
304	アジア諸国よりも欧米系の旅行者が非常に多くなっております。	鎌倉市	卸売業・小売業	10~99人
256	観光客は多く来ていますが、購入が、いま一つ伸びていない。	小田原市	卸売業・小売業	10~99人
163	コロナ後、個人訪日者が少しずつ増えているように感じる。	海老名市	スポーツ・レクリ・博物美術	100人以上
185	以前よりも多様な国籍の訪日旅行者が増えていると感じる。	鎌倉市	卸売業・小売業	10人未満
260	円安影響もあり増えている。外国人が集まるところは忙しい	小田原市	卸売業・小売業	10~99人
32	中国からの戻りがややゆるやか、その他地域は順調に回復	藤沢市	宿泊業	100人以上
74	もともと、外国人比率は高くないが、回復してきている。	横浜市	宿泊業	100人以上
138	元々当館は在日以外の外国人が来館することは皆無です。	湯河原町	宿泊業	不明
164	爆発的に増えている。（コロナ前と比較しても2倍以上）	川崎市	娯楽業	100人以上
213	主要都市に旅行するので、ローカルな場所へ来る人が激減	小田原市	飲食業	10人未満
303	小田原、藤沢などは外国人が多いが、大磯は少ないまま。	大磯町	飲食業	100人以上
325	所属地域は増えていると思うが変化を感じるほどではない	湯河原町	土産物小売業	10人未満
17	日帰りツアーも多く、宿泊に結びつかないケースもある	藤沢市	宿泊業	100人以上
77	欧米中心に増えてきている。中国の方は停滞している。	箱根町	宿泊業	10~99人

7. 国内・訪日旅行者を呼び込むための優先事項

Q. 国内と訪日旅行者を更に呼び込むために「優先して対応すべき取組み」としてあてはまるものを全てお選びください。

図)優先して対応すべき取組み



- ・ 国内訪日ともにSNSなどのプロモーション、観光地としてのブランディングへのニーズが高く、6割前後が優先すべきと判断している。
- ・ その他、訪日向けでは、観光紹介サイトの整備、インフォメーションの強化、通信環境、外国語対応へのニーズが高い。
- ・ ここから、訪日向けには、①ブランディングと情報発信・情報整備、②言語・通信の受入れ環境が最優先であることが分かる。

8. かながわDMOと各地域のリレーションシップ

Q. 神奈川県観光協会のDMO認定の認知、神奈川県観光協会のこれまでの活動の認知、神奈川県観光協会への今後の期待度は？

図)DMO認定の認知

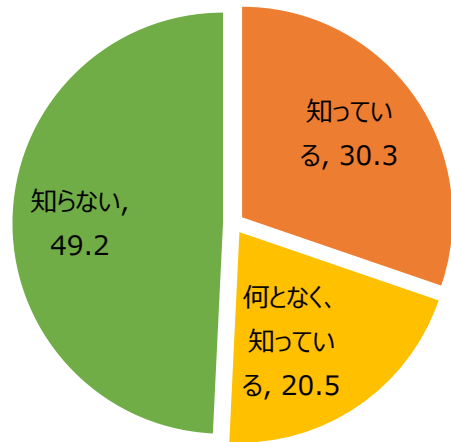


図)これまでの活動の認知

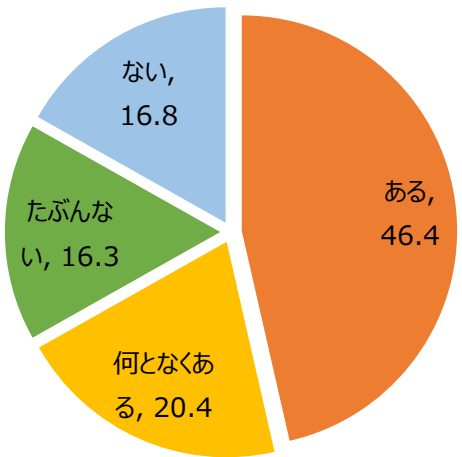
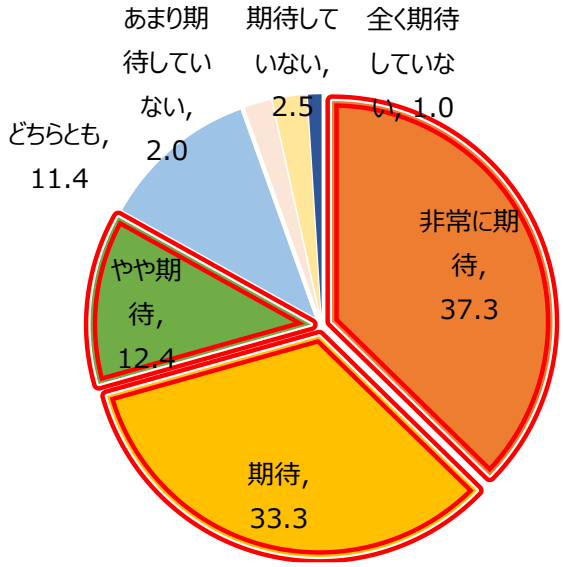


図)今後の取組みへの期待



- 半数がDMOの認定を認知しておらず、情報発信、告知・周知不足が如実に表れている。
- 今年度をかけて周知徹底する。

- 設立1947年であるも、観光関連事業者の3割強が我々の活動を認知していない。
- 実施に主眼を置くだけでなく、結果・成果などの共有を促進する。

- しかし、8割以上が今後のDMOの活動に期待を寄せており、特に4割弱が“非常に期待”と強い期待を表明している。

9. かながわDMOへのご意見・ご要望

- かながわDMOには、地域を越えた協業、企業間を繋ぐ役割、消費を創出する施策、地域間を結ぶリレーションや情報共有・協力体制の構築などが求められている。
- 特に、広域連携に対する期待が多く、コロナ禍を経て再成長していくために官民関わらず神奈川一体でスクラムを組めるようなチームワークが必要であろう。
- また、マーケット分析やセミナーに言及する意見も少数ながら得られ、データリテラシーの向上、マーケティング能力の養成と言った基礎的な強化も今後の活動の視野に入れる必要がある。

自由回答抜粋)

回答ID	かながわDMOへのご意見・ご要望	所在地	業種	規模	DMO期待度
2	神奈川県西部の山北町、丹沢湖奥の温泉地と蛭が岳山域を含む丹沢山塊は長野県上高地に劣らない素材を有していることから、蛭が岳を中心とした丹沢山塊の広域の登山ルート of 抜本的な整備と、宿泊施設の国際レベル化を進めると同時に、山梨県道志村方面とも連携した広域交通ルートと宿泊設備を含む周辺を整備を進めることにより、東京、神奈川、山梨、長野県を結ぶ広域観光エリアの構築を神奈川県観光協会がリーダーシップを執って進めるべきではないでしょうか。	秦野市	他サービス業	10～99人	非常に期待している
147	民間の交通事業者が会社の枠を超えた協業に着手できる環境を協会として作れないか。具体的な事例としては、小田急のフリーパスで伊豆箱根鉄道のバスを利用可能にすれば、来客の利便性は格段に高まる。しかしライバルである企業同士がこのような協業に踏み込むためには大きなハードルがあると考えます。これを協会として、県市町を巻き込んだ対応策ができないだろうか。	箱根町	飲食業	10～99人	期待している
74	2027年に地元横浜で花博が開催されますが、行政と連携して周辺地域に経済的メリットが発生するような仕組みと準備をして欲しいと思います。折角のチャンスも、現状では、宿泊などはほとんど東京になってしまう気がします。メイン会場の瀬谷の他に、サテライトイベントや行事を開催して、地元横浜や神奈川県にお金が落ちる仕組みが必要だと感じます。	横浜市	宿泊業	100人以上	非常に期待している
43	神奈川県の管轄である江の島弁天橋、及び江の島大橋を人力車往来が出来る様にして頂きたい。ヨットハーバー等も人力車で回れる様にして、東町も盛り上げていきたい。自転車より100%安全な乗り物である事は、どんな資料から見ても簡単に見て取れる内容、実績、実態であると認識しています。よろしくお願い致します。	大和市	他サービス業	10人未満	非常に期待している
176	小規模事業者にとっては、訪日旅行者の増減などが「他人事」に感じられます。観光客を受け入れる・歓待する住民の意識作りを醸成し、より多くの事業者や団体が観光客の増加を「自分事」として捉えられるよう、コミュニティ作りや情報発信を行っていただくと嬉しいです。	横浜市	他サービス業	10人未満	期待している
253	世界的にも東京から近い、小田原・箱根地区で外国語対応の翻訳機器を配布して、各所で外国からのお客様と翻訳機器を用いてコミュニケーションが取れるようにすると、観光地としてのブランド力が上がるのではないのでしょうか	小田原市	卸売業・小売業	10～99人	やや期待している

9. かながわDMOへのご意見・ご要望

回答ID	かながわDMOへのご意見・ご要望	所在地	業種	規模	DMO期待度
109	地域の要望や目指す目標目的が時代とともに変化が早くなっています、県と地域とのコミュニケーションを常に（定期的）絶やさず意見交換をし、互いにずれることなく進んで行く事の重要性を再確認すべきだと考えます。	湯河原町	他サービス業	10～99人	非常に期待している
156	相模原市と他市との観光振興連携強化、全体的な情報発信（海外）、訪日客向けの観光地としてのブランディング強化。横浜、箱根、鎌倉以外の観光振興強化。神奈川県全体で周回性の高い観光マップ作り。情報共有	相模原市	製造業	10～99人	非常に期待している
95	鎌倉は以前から言われているように今だにオーバーツーリズムが深刻な状況です。住民と観光客の共存が最大の課題です。車線の拡幅や駐車場の設置などの提言を行政に積極的に働きかけてほしいです。	鎌倉市	その他の業種	10人未満	期待している
154	情報が多すぎて観光客は何をみていいかわからないという声を聞くので、神奈川県公式の機関として各市町村と連携し、ガイドやパンフレットを統一して欲しい。	鎌倉市	宿泊業	10人未満	やや期待している
181	国内外の観光客が利用できる飲食店や小売店の増設や整備、移住して魅力ある店舗を当地域で営業して頂けるような、小規模店舗の援助等	湯河原町	卸売業・小売業	10人未満	期待している
34	横のつながりが無く、各観光地がバラバラに動いているのではないか。距離的に近いところのイベントの連動も必要ではないか。	藤沢市	卸売業・小売業	100人以上	非常に期待している
208	観光業とは関係ない地域住民の方々にDMOを認知してもらい、地元の観光について興味を持ってもらうような取り組みが必要。	湯河原町	宿泊業	10～99人	非常に期待している
183	今後も県内各地域の観光需要増を図るにあたり、観光+食+物産・土産の抱き込み紹介を期待しています。	川崎市	卸売業・小売業	10～99人	非常に期待している
289	先駆的DMOへの選定、インバウンド富裕層の誘致、国土交通省、観光庁モデル観光地などの情報集約	箱根町	卸売業・小売業	10人未満	非常に期待している
148	地域との連携強化のため地元観光協会や訪日委員会との積極的な意見交換の場を設けて欲しいです	湯河原町	宿泊業	10～99人	非常に期待している
42	近県での観光物産展やアンテナショップ強化、県庁公開イベントの再開などを期待しています。	湯河原町	農業、林業	10人未満	期待している
271	神奈川県内での周遊観光や他県からの立寄りをさらに強化してほしい。その為の助成等の強化。	横須賀市	宿泊業	100人以上	非常に期待している
1	県との連携、地域市町村との連携など限られたリソースの中で活発な活動を希望しています。	横浜市	協会・経済団体	10～99人	非常に期待している
269	県観光協会と各地区の観光協会との連携をもっと強化して、連携を持った活動をしてほしい。	小田原市	運輸業	10～99人	期待している
303	大磯町に外国人が来やすい環境のご指導、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。	大磯町	飲食業	100人以上	期待している
157	国内外の、企画ツアーの実施 更に深掘りしたニーズの掘り起こしとそれらの共有。	鎌倉市	飲食業	10～99人	期待している
256	観光に関する起爆剤としてのものとしてクーポン券等の配布をしてもらいたい。	小田原市	卸売業・小売業	10～99人	やや期待している
66	隣接県および隣接する観光地（伊豆、富士）との、広域的連携や情報交換。	箱根町	スポーツ・レクリ・博物美術	100人以上	非常に期待している
199	国内・国外の方々が観光をしたくなる、情報の発信強化をしてもらいたい。	箱根町	飲食業	10～99人	期待している
287	各観光施設や宿泊施設の情報を共有したい（イベントや訪日コースの連携）	三浦市	宿泊業	100人以上	非常に期待している
160	観光各地のイベントの開催強化および資金援助または協賛スポンサー誘致	箱根町	宿泊業	100人以上	非常に期待している
298	市町村で開催が予定されているイベントなどの宣伝PRをしてほしい。	大磯町	その他の業種	100人以上	非常に期待している
163	今後とも、県内外各地域や各施設を繋げる活動を期待しております。	海老名市	スポーツ・レクリ・博物美術	100人以上	非常に期待している
171	会員に過度な負担を掛けないような取り組みをしていただきたい。	二宮町	協会・経済団体	10～99人	やや期待している

9. かながわDMOへのご意見・ご要望

回答ID	かながわDMOへのご意見・ご要望	所在地	業種	規模	DMO期待度
234	アンケート結果、分析データなどを情報共有してほしい。	横浜市	運輸業	100人以上	非常に期待している
127	行政や民間の観光への機運の高め方。地域資産の活用術	茅ヶ崎市	飲食業	10～99人	非常に期待している
310	海と山が駅から近い二宮町をクローズアップして欲しい	二宮町	漁業	10人未満	やや期待している
96	とても期待しておりますので楽しみにしております。	湯河原町	宿泊業	10人未満	非常に期待している
216	地域との連携強化 広域的連携についての応援体制	伊勢原市	飲食業	10～99人	期待している
10	個人でやってる小さな旅館にも目を向けて下さい	湯河原町	宿泊業	10人未満	非常に期待している
277	足柄エリアでの観光振興策の実施を望みます。	山北町	宿泊業	10～99人	非常に期待している
139	神奈川県企業として協力体制を図りたい。	相模原市	宿泊業	100人以上	非常に期待している
14	地域の観光協会 DMOなどとの連携強化	小田原市	他サービス業	10人未満	非常に期待している
44	宿泊費の援助などがあると助かります。	厚木市	農業、林業	10～99人	期待している
174	地域へのサポートを大きくしてほしい	秦野市	卸売業・小売業	10～99人	非常に期待している
20	メインの観光地ではない所への誘客	藤沢市	その他の業種	10人未満	期待している
236	寿司体験イベントの共同企画、制作	川崎市	飲食業	10人未満	非常に期待している
29	情報は、早めに教えてください。	藤沢市	娯楽業	10人未満	期待している
325	日本文化を伝えるイベント開催	湯河原町	土産物小売業	10人未満	非常に期待している
121	DX推進・観光地のPR強化	箱根町	宿泊業	100人以上	非常に期待している
91	県独自の観光アプリの開発	平塚市	協会・経済団体	10人未満	期待している